

「神に打たれる羊飼い」

マルコ章 14 節 32～42 節

羊飼いがうたれると、羊はちります。イエスは弟子たちの目の前でたおされ、世界はいつとき、おきざりにされたように見えました。でも、その出来事は「神が沈黙した」しるしではありません。むしろ逆で、神は私たちが逃げ出す夜のただ中にまで、ふみこんで来られた、というメッセージです。信仰が弱くなり、心がぼらぼらになってしまう時—それでも神は、こちらを見失ってはいません。散ってしまう私たちを知ったうえで、なお前に立つ羊飼いがいる。そこに、希望があります。

二つ目。羊飼いが神に打たれたということは、「苦しみを受ける側に神が立った」ということでもあります。強く、正しく、立派である者だけが神に近いのではない。たおれ、あやまり、言葉をうしなう者に、イエスは立たれました。現代の私たちは、うまく生きているふりをします。上手・下手はあります。でも、羊飼いがうたれた世界では、弱さは失格ではありません。むしろ、そこが神と出会う場です。だから、今日は無理に立ち上がらなくていい。あなたがしがみ込んでいるその場所にも、羊飼いの影はちゃんと届いています。

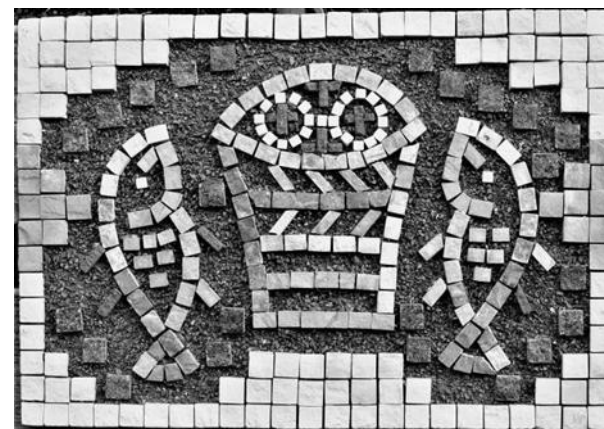
私達は「何をしても同じだ」という考えが生まれますが、打たれた羊飼いに会おうと、逆のことが起こります。「それでも、あなたのところに行く」と言われてしまった人は、自由になります。でもその自由は、投げやりな自由ではありません。せめてうそはつくまい、という自由です。うまく生きられない自分を、うまく見せる必要がなくなる。主のめぐみは、罪が軽くなる道ではなく、罪を抱えたまま神の前に立つことをゆるされた重さだったのだと思います。

お知らせ—71回年頭修養会が日程 2027 年 1 月 11 日(月・休)~12 日(火)・会場
北海道クリスチャンセンター で開催されます。

日本キリスト教団 浦河教会

週 報

No. 43 2026 年 1 月 25 日



〒057-0022 北海道浦河郡浦河町昌平町東通 32

伝道師 大槻茂勝

090-9716-1353

2026 年 1 月 25 日 (No.43)

降誕節第 5 主日礼拝

司会 内村 直人・奏楽 松村 宣恵

ぜん そう いち どう
前 奏 一 同

さんびか いち どう
讃美歌 一 同

いの しかいしゃ
祈 り 司会者

せい しょ しかいしゃ
聖 書 マルコ 14 章 32～42 節 司会者

(新約聖書 9 2 頁)

さんびか いち どう
讃美歌 一 同

せつ きょう かみ う ひつじか いち どう
説 教 「神に打たれる羊 飼い」 一 同

さんびか いち どう
讃美歌 一 同

けんきん かんしゃ いの いち どう
献金 と感謝 の祈り 一 同

しゅ いの いち どう
主の祈り 一 同

しょう えい いち どう
頌 栄 キリストの平和が (1, 5) 一 同

しゅく とう ぼく し
祝 祷 牧 師

ほう こく
報 告

あた へ こ かた ひさ かた しょうかい
新しく来られた方・久しぶりの方の紹介

【今週の集会】

◇一緒に聖書を読み祈る会

1 月 2 8 日 (水) 19 時より

〈コヘレトの言葉 7 章 7～14 節〉旧約 1041 頁

【次週の予定】

◇主日礼拝

2 月 1 日 (日) 14 時

聖書 マルコ 14 章 43～50 節

讃美歌 4 6 0・9 1

◇一緒に聖書を読み祈る会

2 月 4 日 (水) 19 時より

〈コヘレトの言葉 7 章 15～22 節〉旧約 1042 頁

【来週の礼拝 司 会者を決めましょう】

①山本充枝 ②内村直人 ③半田かおる

④伊藤知之 ⑤山根耕平 ⑥岸澤恵美

⑦高崎 晋 ⑧早坂 潔 ⑨荻野 仁 ⑩和田智子

⑪吉田公子 ⑫大矢英明 ⑬岸上 浩

【集会統計】

集会名	出席者	献金
主日礼拝 (1月 18 日)	19 名	6,377 円
クリスマス・イヴ		12,663 円
祈祷会	3 名	
(1月 21 日) 讃美歌 471・300		

・頌栄 キリストの平和が

1. キリストのへいわが
わたしたちのこころのすみ
ずみにまで 行きわたりま
すように

5. キリストのゆるしが
わたしたちのこころのすみ
ずみにまで 行きわたり
ますよう